

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	「ハッピーなグループホーム日本一」の目標に向けて、尊厳を損なう言葉遣いや余計な否定語を使わないよう努めているが、時々出ている。	「ハッピーなグループホーム日本一」を常に意識し、サービス業であることに徹する。	利用者様が幸せを感じられるような言葉を使う。 親しみをこめつつも、対等な口の利き方は避ける。 上記を職員会議で指導し、相互指摘を続ける。	24 ヶ月
2	6	職員の固定化に伴い、外部研修の機会が減っている。	外部研修の機会を増やす。	今後多くなるであろう「看取り」や、最新の「認知症ケア」について学ぶ機会を持つ。常勤職員を中心に外部研修の機会を持ち、持ち帰って内部研修に活かす。	24 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。